

社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動をご紹介します。

近畿ろうきんは、社会貢献預金(笑顔プラス)の取組みを通して、被災地支援や障がい者支援、子育て支援、女性・マイノリティ支援、環境保全、国際協力などの活動を行う、NPO・市民団体を応援しています。

NPO法人 ここ(大阪地区)
《子ども支援・不登校対策》

理事長 三科 元明



当団体は、いじめ・貧困・虐待・発達障がい・精神疾患など様々な背景を持つ不登校の子どもたち(6歳から18歳まで)の学習支援、生活支援、居場所支援を目的としたフリースクールを運営しています。子どもの数は減る一方、学校に通うことのできない子どもは過去最多を毎年更新し続け、現在は約30万人の子どもが不登校となり、教育を受ける機会を失っています。また、18歳以下の子どもの自死も毎年500名を超え、学校に行ける行けないが不登校の子の命に関わる問題となっており、そのような社会課題の解決をめざしています。

当団体は現在特色の違う4つの校舎を運営しており、子どもたち自らがカフェを運営したり、野菜づくり、たこ焼き屋の出店、キャンプなど、学校ではなかなかできない体験をとおして仲間づくりや自尊心を育みます。定期的に音楽イ



イベントなども開催しているので、遊びに来ていただくのはもちろん、出演をしたり、屋台のお手伝いなどにぜひ直接ご参加ください。

NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク(京都地区)
《地域づくり・防災》

理事長 牧 紀男



京都丹波・丹後ネットワークは、人と人が信頼でつながるネットワークを構築することにより、丹波・丹後地域のすべての住民がそれぞれ、地域のために行う様々な活動を支援するとともに、見過ごされてきた地域の課題に向き合うことで誰もが暮らしやすいまちをつくることを目的に活動しています。

近年の物価高等への対応や孤立・孤独をなくす取組みとして「フードバンク・フードパントリー事業」や「外国人及び外国にルーツを持つ子どもたちへの支援」、「多文化共生を主軸にしたまちづくり」など、多様な組織と連携しながら継続実施しています。また、大規模災害を想定した避難所設営を、HUG(避難所運営ゲーム)を使って世代・性・国籍等が異なる多様な人々と学ぶ機会を設け、さらには、地域の人に教えてもらえる「地域のデジタル推進者」を養成し、それぞれの



地域に合った防災に役立つデジタル環境づくりにも取り組んでいます。



社会貢献預金(笑顔プラス)は、「預金者の寄付負担(金利引下げ分の利息相当額)」と「ろうきんの拠出金」の合計額を地域のNPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。
※商品の詳細は、当金庫ホームページをご覧ください。また店頭の商品説明書をご用意しています。

近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>



近畿ろうきんFacebookページでは、社会貢献預金(笑顔プラス)の寄付先団体の活動状況などを随時公開しています。